

広報のプロフェッショナルが語る発災時のニーズ

災害が起きたとき

私たちはどう外国人に寄り添えるか

先着 30 名

日 時： 令和 2 年 **2 月 29 日** (土) 13:30~16:30 (受付 13:00)

会 場：一般財団法人青少年国際交流推進センター5 階会議室

締 切：令和 2 年 2 月 27 日 (金) 午前 10:00

会 費：1,000 円

申込方法：(一財) 青少年国際交流推進センター HP

www.centerye.org の登録フォームからお申込みください。



申込はコチラ



<講師>

高島哲夫氏

国立研究開発法人防災科学技術研究所
審議役 元新潟県広報監

<講師略歴>

株式会社博報堂においてPR局、ブランドサイクルマネジメント局などの部長、マーケットデザインディレクター、エグゼクティブコンサルタント等の仕事をした後、故郷新潟県の初代広報監となり、県のブランディングを行うほか、新潟県中越地震、中越中地震等にも対応。

その後、内閣府で広報担当の参事官として行政刷新大臣、国家戦略大臣等に任せ、首相官邸に移って内閣広報室担当の内閣審議官、内閣官房長官秘書官を兼務。この際に東日本大震災が発生し、未曾有の災害に官邸の広報担当として対応。これらの経験から、現在は防災科学技術研究所の審議役として、日本の防災科学技術に関する啓発活動を行う。

他に、JANIC 有識者会議委員、国連 UNHCR 協会理事、気象庁気象防災アドバイザー育成研修講師等を経て、日本国際ボランティアセンター理事、(社)ガールスカウト日本連盟評議員、内閣府防災スペシャリスト養成研修講師、内閣府「迎賓館アドバイザー」など多岐にわたる社会活動も行う。

2004 年度「国際青年育成交流事業」ハンガリー派遣団団長

プログラム

13:30	アイスブレイク、自己紹介
14:00	災害について知る、備える、行動する 広報マンとしての経験値からの気づき
15:00	グループディスカッション 振り返り

主催：一般財団法人青少年国際交流推進センター

協力：日本青年国際交流機構 (IYEO)

問い合わせ先：一般財団法人青少年国際交流推進センター

担当 齊藤 Tel 03-3249-0767 Email seminar@centerye.org